



えにしのに参加して

えにしの会という勉強会があります。元朝日新聞編集の大熊由紀子さん（通称：ゆきさん）が主催される会で、毎年春に開催されます。4月16日（土）の午後、新緑まばゆい日比谷公園の近くのプレスセンターを会場に、全国で活躍する医療・福祉のフロントランナーや行政、メディアが集まりました。

印象的な話をいくつか紹介します。1つのテーマは、精神病院のこれからでした。いかに病院が個人の尊厳を奪い、苦しみを大きく与えているのかを考えさせられました。特に樋口直美さんの話が心に残りました。樋口さんは、レビー小体型認知症の体験を通して、どのような時に尊厳を失うのか、そしてどのようなことがあると尊厳が守られるのかを語られていました。家族ではなく、きちんと私の顔を見て、私の話を聴いて欲しい。私を1人の人間として扱って欲しい、というきわめてあたりまえのことが、そうではない現実との開きに驚きます。

これはディグニティーセラピーが元となったディグニティモデルの基本的な考え方と一緒に。闘病体験を通して学ぶことは、その人の尊厳がどのように失われ、あるいは保たれるのかを考えさせる大きな学びとなります。

夜の部では、全盲の弁護士の大胡田さん、聾の弁護士の田門さんが、それぞれのハンディを乗り越えて弁護士になる話を伺いました。大胡田さんは、数年前にドラマのモデルとなった全盲の弁護士です。視力障害や聴力障害との理由で高校や大学での勉強の壁がありました。さらには司法試験受験に際しても、障害がある理由で、壁にぶつかります。それでも、苦しむ人に力になりたいとの思いから、夢を叶えていきます。本当のテーマは、この4月に施行された障害者差別解消法の法律について、不当な差別の禁止と必要かつ合理的な配慮の紹介ではあったのですが、“苦しむ人の力になりたい”という共通の仲間という意識の方が強く心に残りました。

小児麻痺の小児科医熊谷さんの話も印象的でした。自立の反対は independence ではなく、Multi-dependence であるとの指摘は、目からウロコでした。自立 vs 依存という視点ではなく、依存先の集中 vs 分散という視点で、障害者支援の在り方を考えることができました。「ダメ。ゼッタイ。」という薬物乱用のスローガンは、数少ない支えを奪うようなことであり、例えるならば、車いすの人にエレベーターを使わないで3階まで行きなさいと言うようなもの。他の選択肢を選べる環境を整える方が大切と感じました。

何かしら社会的に弱い立場の人は、支援の選択肢が限られ、依存先が集中しやすくなります。自立が進むためには、その選択肢が多く分散することが大切です。具体的にどのような人材や資源が地域に必要なかを考えたとき、サービスを提供する側の底上げが鍵になるでしょう。あらためて、これからの時代に求められる人材育成を大切にしようと考えた時間となりました。 小澤竹俊



4月からスタッフが増えました

この春よりスタッフが増えました。診療部には、看護師の志藤さん、サポーターの久田さん、そして院長秘書として田中さんにお越し頂きました。4月からの診療報酬改訂では、さらに地域包括ケアシステムの推進として、看取りに関わる在宅療養支援診療所に対して“充実”という形容詞がつくようになりました。地域や時代のニーズに応えることができるように、さらにめぐみ在宅クリニックとしての活動を“充実”していきたいと思えます。

新刊が10万部を越えました

新刊「今日が人生最後の日だと思って生きなさい」が1月に出版されてから重版を重ね、2ヶ月で10万部を越えました。2025年問題にむけて、医療・介護向けの人材育成だけでなく、一般市民にむけた活動も並行して行いたいと願っていました。これからの時代は、病院任せではなく、それぞれの地域で“いのち”について考えていかないといけない時代が来ます。この本を通じて、生きること、苦しみの意味、そして避けることのできない看取りについて考える一助になればと願っております。この場を借りて、皆様に御礼申し上げます。

在宅医を目指す医師のための教育セミナー企画

来る4月30日（土）5月1日（日）の2日間で在宅医を目指す医師のための教育セミナーを、めぐみ在宅クリニックを会場に開催されます。ファシリテーターとして、愛媛のたんぼぼ診療所の永井先生、福井の紅谷先生、岐阜の市橋先生と小澤が担当します。在宅医療に関心を寄せる医師向けのコアなイベントとなります。関心のある医師がおりましたら、是非ご参加下さい。

診療実績

	2006-2014年	2015年計	2016年1月	2016年2月	2016年3月	2016年計	総計
訪問回数	32,656	8,682	772	770	781	2,323	43,661
自宅永眠	1,286	242	22	24	15	61	1,589
施設永眠	129	29	4	3	4	11	169
在宅(自宅+施設)	1,415	271	26	27	19	72	1,758
病院永眠	330	67	8	6	7	21	418